

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S 10

平成22年12月15日発行

発刊元：かわかみなと（非営利活動団体）

東京都杉並区梅里1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.13

会場視察に「WITH遊」へ！ お茶を片手に、アイデア談義!!

12月3日
昼コース

今回は、いつもの会場を飛び出して外へ！前回の話し合いで決まった会場「WITH遊」に集合し、視察＆話し合い。このお店「WITH遊」の店長さんは、なんと大人塾の先輩。また、今年受講生の中には、すでにこの会場を使ってさまざまなことを行なっていて店長さんと馴染みの方も。そうした“縁”も生かしてこの会場に決定した。

お店に入り、まずは暖かい飲み物をいただいて、さあ話し合い。松田先生の提案で、今回は全て受講生の自治的なやりとりで、話し合いを行なった。現場を見てみると、さまざまな課題と同時に、解決するためのアイデアも浮かんでくる。

「ここでやるのに、駅から距離がある。歩いてでも来てもらえるようにどうしたらよieldろう？」、「目玉となる“何か”やテーマ性が必要だ！」、「自転車でくる人が多いように思う。駐輪場を確保せねば...」、「区の広報以外にPRする方法を考えよう」、「日程的には“節分”や“バレンタイン”がテーマとなるか？」...などなど。思い思いに言葉が飛び交う。こうした話し合いに、幾度となく立ち会っていると、まるで「ひとりごと」のような、ちょっとした思いつきの一言が、まわりに作用して共感を得て、大きく活動が進んだり、新たなアイデアが膨らんだり...という経験が何度もあった。自分の、そして相手の、ちょっとした言葉を大切にできること。それがもしかしたら、活動を成功させる秘訣かも！？思いついたこと、どんどん出しあおう！（記事：川上）



作戦会議ノート

10.12.3

企画編

もちつき大会 おしるこ、甘酒
おいしいお漬物 あったかにゆうめん
ハープティーの講座（09年生に依頼）
区民農園でとれた農作物の販売
折り紙ワークショップ おみくじ
節分だから鬼の面をつける
巨大福笑い 健康ウォーク
豆を椀から椀へはして運ぶゲーム
動きのあるダンスや音のでる楽器の演奏

「WITH遊」との調整編

壁面は使えない
机・イス等はなるべく撤去せずに使用
外には2m×2mのテントを2つはれる
その他、販売面・レイアウト面など、調整の必要なものは、項目をまとめて、WITH遊へ伝える

運営編

自転車で来る人が多いはず。駐輪場の確保
隣の空きスペース、図書館・体育館の駐
輪場は使えないか？

広報活動

チラシ・区の広報・看板・旗をつくる

チラシ案・山田担当

役割・グループ分け（案）

運営班・喫茶班・散策案内班

共同資金（案）

一人1000円のお金を集金

・会場費の支出（5000円）

・茶菓子券を作り、事前に配って集客

安全管理

保健所の指導、傷害保険加入

65名が参加、気づき・つながりが生まれた



すぎなみ発見！ ワークショップ広場2010

12/1(リハーサル)
12月5日
夜コース

開催！

3ヶ月にわたり、準備してきた「ワークショップ広場」。12月1日にリハーサルを行い、流れや足りない部分をまずはチームで、更にお互いにチェック。5日に向け、最後の準備に奔走した。

いよいよ当日。申し込みが多数あったチーム、当日呼びこみをしたチームなど、皆ぎりぎりまで集客をした甲斐もあり、各ワークショップとも運営するには十分な人数が集まった。これには事務局も感動！皆もきっと自信になったに違いない。

まずは、「主催者側が楽しく！」という広石さんのアドバイス通り、苦勞の中にも楽しさが溢れ、各ワークショップとも大成功に終わった。さらに広石さんから出された目標は、「新しい発見、驚き、気づきをそれぞれが体験すること」であった。参加者の感想の中で、新しい発見が感じ取れたであろうか。

また、受講生同士、お互いのワークショップに参加することも相互学習として意味がある。受講生からもそれを望む声が多く、まずは教育チームの映画を再上映することになった。次回の講座では今回の実践をきちんと振り返り、課題を明らかにし、次へつなげていくことが大事だ。受講生の皆様、お疲れ様でした！（湊）

街歩きチーム スタート



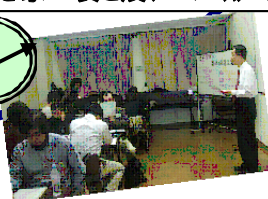
世代間交流チーム スタート



教育チーム スタート



空き家+食と農チーム スタート



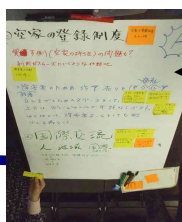
残り4チームも無事終了！



世代間交流チームからた完成！



着々と完成したものが並ぶ



杉並を魅力的な街にするには？

魅力的な地域というのは、やはりそこにいろいろな体験や興味を持っている人々と親しく触れあうことにつまるといふこと。仕事はホドホドにして、地域での仲間作り・まずは友人作り。どこへいけばよい？ このような集まりを継続して行っていくことが重要。アイデアを持っている人がたくさんいるので、是非その意見を活用して協力していきたい。ご近所づきあいをしっかりやっていきたい。空き家登録制度などが必要である。杉並の課題を一挙に解決する手段はないと思う。ただし、積極的に課題解決をしようと皆が努力している姿勢は、大変魅力的な杉並をつくると思う。積極的に地域活動に参加する。地域の人々と交流をする。大人も子ども障害者も、共存できる街をつくりたい。（感想はすべてアンケートより抜粋）

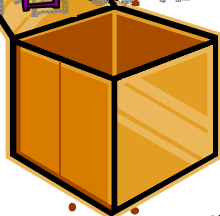
改めて気付いたことは？

自分の街を知ることは大切だと感じた。 社会を変えていくのに男性の参加交流は大切。 地産地消の取り組みがよい。 地域に問題が多いことがわかった。 杉並のよさを改めて知った。 社会の根っこにある問題・課題は、大きくひとつかもしれないと思った。 情報の共有の大切さを感じる。 価値観はあくまで自分自身のもので、人の意見を聞くことで価値観の幅が少し広がった気がした。

既婚・未婚・子どもの有無にかかわらず、子どもや家族のかかえる問題から目をそらしてはいけないと思った。 地域をよりよく活性化するために、熱い思いを持っている人がいること。 人とスペース(場所)によって交流は深まり、地域や社会に貢献できるのではと思う。

きちんと向き合ってコミュニケーションをとる大切さ。

参加者の感想



すぎなみ大人 熟 してる？の発行にあたって

この新聞は事務局スタッフ川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。